

行番号		追加・削除・変更を行う項目	意見の種類	意見及びその理由等
648		DO, BOD, CODを測定できる	削除	DO, BOD, CODを測定できる(削除理由)薬剤師がこれらの概念を理解しておくことは有意義かもしれませんが、自身で測定できることを要求するのは、過剰だと思います。
648		DO, BOD, CODを測定できる	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
649		富栄養化の原因とそれによってもたらされる問題点(列挙)、対策	変更	富栄養化の原因とそれによってもたらされる問題点、対策
649		富栄養化の原因とそれによってもたらされる問題点(列挙)、対策	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る、または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
649		富栄養化の原因とそれによってもたらされる問題点(列挙)、対策	削除	CBTで対応可能
649		富栄養化の原因とそれによってもたらされる問題点(列挙)、対策	削除	647に含まれる事項。
649		富栄養化の原因とそれによってもたらされる問題点(列挙)、対策	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
650	大気環境	空気の成分	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る、または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
650		空気の成分	削除	CBTで対応可能
650		空気の成分	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
651		主な大気汚染物質(列挙)、その推移と発生源	変更	主な大気汚染物質、その推移と発生源
651		主な大気汚染物質(列挙)、その推移と発生源	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る、または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
651		主な大気汚染物質(列挙)、その推移と発生源	追加	主な大気汚染物質(列挙)、その推移と発生源、その生体へ及ぼす影響
651		主な大気汚染物質(列挙)、その推移と発生源	削除	CBTで対応可能
651		主な大気汚染物質(列挙)、その推移と発生源	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
652		主な大気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる	変更	主な大気汚染物質の濃度、と健康影響
652		主な大気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る、または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
652		主な大気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる	削除	CBTで対応可能
652		主な大気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる	変更	実習の項目については、従来と同様に測定原理、計算に限って出題する。
652		主な大気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
653		大気汚染に影響する気象要因(逆転層など)	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る、または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
653		大気汚染に影響する気象要因(逆転層など)	削除	CBTで対応可能
653		大気汚染に影響する気象要因(逆転層など)	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
654	室内環境	室内環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる	変更	室内環境を評価するための代表的な指標と、測定法
654		室内環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る、または医療薬学と結びつけたうえで出題する。

行番号		追加・削除・変更を行う項目	意見の種類	意見及びその理由等
654		室内環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる	削除	CBTで対応可能
654		室内環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる	変更	実習の項目については、従来と同様に測定原理、計算に限って出題する。
654		室内環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
655		室内環境と健康との関係	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る、または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
655		室内環境と健康との関係	削除	CBTで対応可能
655		室内環境と健康との関係	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
656		室内環境の保全のために配慮すべき事項	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る、または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
656		室内環境の保全のために配慮すべき事項	削除	CBTで対応可能
656		室内環境の保全のために配慮すべき事項	削除	655に含まれる事項
656		室内環境の保全のために配慮すべき事項	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
657		シックハウス症候群	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る、または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
657		シックハウス症候群	削除	CBTで対応可能
657		シックハウス症候群	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
658	廃棄物	廃棄物の種類(列挙)	変更	廃棄物の種類
658		廃棄物の種類(列挙)	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る、または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
658		廃棄物の種類(列挙)	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
659		廃棄物処理の問題点(列挙)、その対策	変更	廃棄物処理の問題点、その対策
659		廃棄物処理の問題点(列挙)、その対策	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る、または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
659		廃棄物処理の問題点(列挙)、その対策	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
660		医療廃棄物を安全に廃棄、処理する	変更	医療廃棄物の廃棄、処理
660		医療廃棄物を安全に廃棄、処理する	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る、または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
660		医療廃棄物を安全に廃棄、処理する	変更	実習の項目については、従来と同様に測定原理、計算に限って出題する。
660		医療廃棄物を安全に廃棄、処理する	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
661		マニフェスト制度	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る、または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
661		マニフェスト制度	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
662		PRTR法	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る、または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
662		PRTR法	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える

行番号		追加・削除・変更を行う項目	意見の種別	意見及びその理由等
663		環境保全と法的規制	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る。または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
663		典型七公害とその現状、および四大公害	削除	CBTでは必要であるが、薬剤師国家試験時には、削除してもよいのではないだろうか。
663		典型七公害とその現状、および四大公害	削除	CBTで対応可能
663		典型七公害とその現状、および四大公害	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
664		環境基本法の理念	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る。または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
664		環境基本法の理念	削除	CBTでは必要であるが、薬剤師国家試験時には、削除してもよいのではないだろうか。
664		環境基本法の理念	削除	CBTで対応可能
664		環境基本法の理念	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
665		大気汚染を防止するための法規制	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る。または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
665		大気汚染を防止するための法規制	削除	CBTでは必要であるが、薬剤師国家試験時には、削除してもよいのではないだろうか。
665		大気汚染を防止するための法規制	削除	CBTで対応可能
665		大気汚染を防止するための法規制	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える
666		水質汚濁を防止するための法規制	変更	大部分の薬剤師に直接関係のない項目を多く含むので内容を絞る。または医療薬学と結びつけたうえで出題する。
666		水質汚濁を防止するための法規制	削除	CBTでは必要であるが、薬剤師国家試験時には、削除してもよいのではないだろうか。
666		水質汚濁を防止するための法規制	削除	CBTで対応可能
666		水質汚濁を防止するための法規制	削除	薬剤師として、この知識を持っていることは望ましいが、国家試験に出題するのは不適当と考える

C13 薬の効くプロセス

行番号		追加・削除・変更を行う項目	意見の種別	意見及びその理由等
667	(1)薬の作用と生体内運命	薬物の用量と作用の関係		
668		アゴニストとアンタゴニスト		
669		薬物の作用するしくみ、受容体、酵素およびチャネル(例示)	変更	薬物の作用するしくみ、受容体、酵素およびチャネル
669		薬物の作用するしくみ、受容体、酵素およびチャネル(例示)	変更	薬物のターゲット分子として、受容体、酵素、イオンチャネルの他に、「トランスポーター」を加えた方がよい。
669		薬物の作用するしくみ、受容体、酵素およびチャネル(例示)	追加	トランスポーターを追加すべきと考えます。プロトンポンプ阻害薬、ナトリウムポンプ阻害薬などの概念が定着している。
670		代表的な薬物受容体(列挙)、刺激あるいは阻害された場合の生理反応	変更	代表的な薬物受容体、刺激あるいは阻害された場合の生理反応
671		薬物の作用発現に関連する代表的な細胞内情報伝達系(列挙)、活性化された場合の生理反応	変更	薬物の作用発現に関連する代表的な細胞内情報伝達系、活性化された場合の生理反応
671		薬物の作用発現に関連する代表的な細胞内情報伝達系(列挙)、活性化された場合の生理反応	削除	共用試験において関連する基本的事項が理解できていることを確認できているという前提があれば、出題範囲に加える必要はない。
672		薬効に個人差が生じる要因(列挙)	変更	薬効に個人差が生じる要因
672		薬効に個人差が生じる要因(列挙)	変更	(変更前)薬効に個人差が生じる要因(列挙) (変更後)薬効に個人差が生じる要因(列挙)が、治療において同様重要であると認識されています。すでにモデルコアや本資料中の944行、C15薬物治療に役立つ情報、(3)テーラード、投与計画でも取り上げられていますが、治療全体に関わるためこの項目でも明示すべきであると考えます。
673		代表的な薬物相互作用の機序	変更	独立させて、細項目をつくる。範囲が広すぎるため
674		薬物依存性(具体例)		
675		薬の運命	変更	「薬物の体内動態と薬効・副作用の発現との関わりを説明できる」に変更。薬物の体内動態が薬効だけでなく、副作用の発現に如何に関係しているのかを理解・説明できることは重要である
675		薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)と薬効発現の関わり	変更	薬の運命とADME、あるいはTDMと投与設計など両者をまとめた方がよいのではないだろうか。薬物動態に関する箇所非常に多い。
675		薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)と薬効発現の関わり	削除	「C13-(4)薬物の臓器への到達と消失」の内容と重なるため。
676		薬物の代表的な投与方法(剤形、投与経路)(列挙)、その意義	変更	薬物の代表的な投与方法(剤形、投与経路)、その意義
676		薬物の代表的な投与方法(剤形、投与経路)(列挙)、その意義	変更	剤形と投与経路とは切り離せないが、投与経路の種類については、狭くても良いが、剤形については、「C16製剤化のサイエンス」に組み入れ詳しく学習したほうがよい。
676		薬物の代表的な投与方法(剤形、投与経路)(列挙)、その意義	変更	薬の運命とADME、あるいはTDMと投与設計など両者をまとめた方がよいのではないだろうか。薬物動態に関する箇所非常に多い。
676		薬物の代表的な投与方法(剤形、投与経路)(列挙)、その意義	削除	「C13-(4)薬物の臓器への到達と消失」の内容と重なるため。
677		経口投与された薬剤が吸収されるまでに受ける変化(崩壊、分散、溶解など)	削除	製剤学と関連性の高い項目であり、薬理分野の中で一つの項目として出題分野に含めるのはふさわしくないと考えた。出題範囲としては、薬理学と製剤学の複合問題の範囲として取り扱うべきではないかと思う。
677		経口投与された薬剤が吸収されるまでに受ける変化(崩壊、分散、溶解など)	削除	崩壊、分散、溶解については、「C16製剤化のサイエンス」に組み入れる。
677		経口投与された薬剤が吸収されるまでに受ける変化(崩壊、分散、溶解など)	変更	薬の運命とADME、あるいはTDMと投与設計など両者をまとめた方がよいのではないだろうか。薬物動態に関する箇所非常に多い。

行番号		追加・削除・変更を行う項目	意見の種類	意見及びその理由等
677		追加・削除・変更を行う項目 経口投与された製剤が吸収されるまでに受ける変化(崩壊、分散、溶解など)	削除	「C13-(4)薬物の臓器への到達と消失」の内容と重なるため。
677		経口投与された製剤が吸収されるまでに受ける変化(崩壊、分散、溶解など)	変更	薬と疾病 I 薬の効くプロセス「SBO11 経口投与された製剤が吸収されるまでに受ける変化(崩壊、分散、溶解など)を説明できる。」についての出題は製剤科のサイエンス I 部製剤材料の性質「SBO2物質の溶解とその速度について説明できる。」で取り扱うのがより適切ではないかと考えられます。
678		薬物の生体内分布における循環系の重要性	削除	薬物動態学と関連性の高い項目であり、薬理分野の中で一つの項目として出題分野に含めるのはふさわしくないと考えた。出題範囲としては、薬理学と薬物動態学の複合問題の範囲として取り扱うべきではないかと思う。
678		薬物の生体内分布における循環系の重要性	削除	生体内分布に関する事項については、「C13(4)薬物の臓器への到達と消失」に組み入れる。
678		薬物の生体内分布における循環系の重要性	変更	薬の運命とADME、あるいはTDMと投与設計など両者をまとめた方がいいのではないだろうか。薬物動態に関する箇所非常に多い。
678		薬物の生体内分布における循環系の重要性	削除	「C13-(4)薬物の臓器への到達と消失」の内容と重なるため。
679		生体内の薬物の主要な排泄経路(例示)	変更	生体内の薬物の主要な排泄経路
679		生体内の薬物の主要な排泄経路(例示)	削除	ADMEについてはすでに675行で取り扱っており、独立して取り扱う必要がない。
679		生体内の薬物の主要な排泄経路(例示)	削除	項目745と749に重複するためである。
679		生体内の薬物の主要な排泄経路(例示)	削除	薬物動態学と関連性の高い項目であり、薬理分野の中で一つの項目として出題分野に含めるのはふさわしくないと考えた。出題範囲としては、薬理学と薬物動態学の複合問題の範囲として取り扱うべきではないかと思う。
679		生体内の薬物の主要な排泄経路(例示)	削除	排泄経路については、「C13(4)薬物の臓器への到達と消失」に組み入れる。
679		生体内の薬物の主要な排泄経路(例示)	変更	薬の運命とADME、あるいはTDMと投与設計など両者をまとめた方がいいのではないだろうか。薬物動態に関する箇所非常に多い。
679		生体内の薬物の主要な排泄経路(例示)	削除	「C13-(4)薬物の臓器への到達と消失」の内容と重なるため。
680		薬の副作用	追加	副作用については、他の項目にもあるのですが、ほとんどがどんな薬にどんな副作用があるかという内容になっています。その方法だと個々で覚えなくてはならず、臨床で必要な系統だけで考察ができなくなります。それを改善するため器官の障害から説明する副作用を入れるべきではないでしょうか。例えば、器官毒性、障害発生機構など。
680		薬物の主作用と副作用(有害作用)、毒性との関連	追加	副作用の種類(過量投与、依存性、発ガン性、乱用、能奇形性、発ガン性、遺伝毒性、臓器別毒性、等)医薬品の安全性を総合的に見るためには、個々の薬物の副作用(各論)の前に総論としての毒性学の知識が必要である
681		副作用と有害事象の違い		
682	動物実験	動物実験における倫理について配慮する	変更	動物実験における倫理
682		動物実験における倫理について配慮する	削除	
682		動物実験における倫理について配慮する	削除	薬剤師資格に必須の項目ではない、試験に馴染まない。
682		動物実験における倫理について配慮する	削除	出題するのに相応しくない。
682		動物実験における倫理について配慮する	削除	国試には不要。

行番号		追加・削除・変更を行う項目	意見の種類	意見及びその理由等
682		動物実験における倫理について配慮する	削除	薬剤師業務に必須の内容でなく、国家試験に出題するのは不適当
682		動物実験における倫理について配慮する	削除	試験で問うべき内容ではないと思う、また、薬剤師に必ず必要な内容とは思えない。
682		動物実験における倫理について配慮する	削除	「態度」なので削除。
683		代表的な実験動物を適正に取り扱うことができる	削除	国家試験では出題しなくてよいのでは？
683		代表的な実験動物を適正に取り扱うことができる	削除	
683		代表的な実験動物を適正に取り扱うことができる	削除	薬剤師資格に必須の項目ではない、試験に馴染まない。
683		代表的な実験動物を適正に取り扱うことができる	削除	出題するのに相応しくない。
683		代表的な実験動物を適正に取り扱うことができる	削除	国試には不要。
683		代表的な実験動物を適正に取り扱うことができる	削除	薬剤師業務に必須の内容でなく、国家試験に出題するのは不適当
683		代表的な実験動物を適正に取り扱うことができる	削除	試験で問うべき内容ではないと思う、また、薬剤師に必ず必要な内容とは思えない。
683		代表的な実験動物を適正に取り扱うことができる	削除	「技能」なので削除。
684		実験動物での代表的な薬物投与方法を実施できる	削除	国家試験では出題しなくてよいのでは？
684		実験動物での代表的な薬物投与方法を実施できる	削除	
684		実験動物での代表的な薬物投与方法を実施できる	削除	薬剤師資格に必須の項目ではない、試験に馴染まない。
684		実験動物での代表的な薬物投与方法を実施できる	削除	出題するのに相応しくない。
684		実験動物での代表的な薬物投与方法を実施できる	削除	国試には不要。
684		実験動物での代表的な薬物投与方法を実施できる	削除	薬剤師業務に必須の内容でなく、国家試験に出題するのは不適当
684		実験動物での代表的な薬物投与方法を実施できる	削除	試験で問うべき内容ではないと思う、また、薬剤師に必ず必要な内容とは思えない。
684		実験動物での代表的な薬物投与方法を実施できる	削除	「技能」なので削除。
685	(2)薬の働き方 I	中樞神経系に作用する薬	変更	代表的な全身麻酔薬、その薬理作用、機序、主な副作用
685		代表的な全身麻酔薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	追加	中樞神経系に作用する薬 代表的な中樞興奮薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用を追加:該当項目がないため
685		代表的な全身麻酔薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	追加	眼に作用する薬物、免疫系に作用する薬物、皮膚に作用する薬物を追加:該当項目がないため
685		代表的な全身麻酔薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	追加	抗生物質、抗癌薬(列挙)、その作用機序、主な副作用を追加:該当項目がないため
685		代表的な全身麻酔薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
685		代表的な催眠薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	変更	代表的な催眠薬、その薬理作用、機序、主な副作用
685		代表的な催眠薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。

行番号		追加・削除・変更を行う項目	意見の種別	意見及びその理由等
886		代表的な催眠薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	変更	代表的な催眠薬・抗不安薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用 どちらかというコアカリの内容に対する意見になると思いますが、抗不安薬は、中枢神経系薬物の重要なカテゴリーであり、これまでの国家試験でも非常に出現頻度の高いものであるため、出題範囲(あるいはコアカリ上)に明記されていないことには違和感があります。可能であれば、左記のように686に追加するか、新たな項目立てをするか、若しくは689で「代表的な精神疾患(統合失調症、うつ病、神経症など)…」のような形で触れるか、いずれかの対応があったほうが良いように思われます。
887		代表的な鎮痛薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	変更	代表的な鎮痛薬、その薬理作用、機序、主な副作用
887		代表的な鎮痛薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
888		代表的な中枢神経疾患(てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など)の治療薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	変更	代表的な中枢神経疾患(てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など)の治療薬、その薬理作用、機序、主な副作用
888		代表的な中枢神経疾患(てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など)の治療薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	追加	代表的な中枢神経疾患 脳血管系に片頭痛を追加:該当項目がないため
888		代表的な中枢神経疾患(てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など)の治療薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
888		代表的な中枢神経疾患(てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など)の治療薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	追加	疾患と症状を区別して捉える必要があり、現在の項目の中に入っていない。
889		代表的な精神疾患(統合失調症、うつ病など)の治療薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	変更	代表的な精神疾患(統合失調症、うつ病など)の治療薬、その薬理作用、機序、主な副作用
889		代表的な精神疾患(統合失調症、うつ病など)の治療薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	変更	代表的な精神疾患として、「不安障害と躁病(あるいはうつ病とする)」を加えた方がよい。
889		代表的な精神疾患(統合失調症、うつ病など)の治療薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
889		代表的な精神疾患(統合失調症、うつ病など)の治療薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	追加	疾患と症状を区別して捉える必要があり、現在の項目の中に入っていない。
889		代表的な精神疾患(統合失調症、うつ病など)の治療薬(列挙)、その薬理作用、機序、主な副作用	追加	神経症も入れて、代表的な神経疾患(統合失調症、神経症、うつ病など)の治療薬、その薬理作用、機序、主な副作用(抗不安薬は、その数も使用頻度も高いので)
890		中枢神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	変更	中枢神経に作用する代表的な薬物の効果測定
890		中枢神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	変更	「薬物の効果を測定できる」ではなく、「効果を評価できる。」とするべきと考える。また、ここで指している、効果というのは、臨床での効果なのか、薬物をin vitroもしくは動物実験での評価なのかを明確にしておく必要がある。
890		中枢神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	削除	代表的な薬物との表現が抽象的なのと、測定法が多様にわたる場合があるので、国試の内容としては過剰の要求と思われる。
890		中枢神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
890		中枢神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	変更	薬物の効果を測定できる。どのように測定するのでしょうか?測定できる試験項目を説明できる方が、よしかと思います。

行番号		追加・削除・変更を行う項目	意見の種別	意見及びその理由等
890		中枢神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	削除	中枢薬の作用機序は多岐におよび、評価実験系は個々に大きく異なる。故に、代表的な中枢薬の効果を評価する手技を6年間で、例え代表薬物に対する評価系であっても体得することは不可能。3種程度なら可能かもしれない。経験はできても、「できる」までは不可能
890		中枢神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	削除	「技能」なので削除。
891		自律神経系に作用する薬	変更	交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用
891		自律神経系に作用する薬	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
892		自律神経系に作用する薬	変更	副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用
892		自律神経系に作用する薬	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
893		自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	変更	神経節に作用する代表的な薬物、薬理作用、機序、主な副作用
893		自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
893		自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	変更	神経節「および神経終末」を加える
894		自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	変更	自律神経系に作用する代表的な薬物の効果測定
894		自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	変更	「薬物の効果を測定できる」ではなく、「効果を評価できる。」とするべきと考える。また、ここで指している、効果というのは、臨床での効果なのか、薬物をin vitroもしくは動物実験での評価なのかを明確にしておく必要がある。
894		自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	削除	代表的な薬物との表現が抽象的なのと、測定法が多様にわたる場合があるので、国試の内容としては過剰の要求と思われる。
894		自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
894		自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	削除	自律神経系に作用する代表的な薬物の効果測定
894		自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	削除	「技能」なので削除。
895		知覚神経系・運動神経系に作用する薬	変更	知覚神経に作用する代表的な薬物(局所麻酔薬など)(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用
895		知覚神経系・運動神経系に作用する薬	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
895		知覚神経系・運動神経系に作用する薬	追加	麻酔の作用機序について記載されていないため
896		運動神経系に作用する代表的な薬物(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	変更	運動神経系に作用する代表的な薬物、薬理作用、機序、主な副作用

行番号		追加・削除・変更を行う項目	意見の種別	意見及びその理由等
696		運動神経系に作用する代表的な薬物(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
697		知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	変更	知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果測定
697		知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	変更	「薬物の効果を測定できる」ではなく、「効果を評価できる」とすべきと考える。また、ここで指している、効果というのは、臨床での効果なのか、薬物を in vitro もしくは動物実験での評価なのかを明確にしておく必要がある。
697		知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。	削除	代表的な薬物との表現が抽象的ななど、測定法が多様になる場合があるので、国試の内容としては追加の要素と思われる。
697		知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
697		知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	変更	薬物の効果を測定できる。どのように測定するのでしょうか?測定できる試験項目を説明できる方が、よろしいかと思います。
697		知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	削除	知覚神経、運動神経に作用する薬物の作用機序は多岐におよび、評価実験系は個々に大きく異なる。故に、代表的な知覚神経、運動神経に作用する薬物の薬効を評価する手法を6年間で、例え代表薬物に対する評価系であっても体得することは不可能。3種程度なら可能かもしれない。経験はできても、「できる」までは不可能
697		知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる	削除	「技能」なので削除。
698		循環器系に作用する薬	変更	代表的な抗不整脈薬、薬理作用、機序、主な副作用
698		代表的な抗不整脈薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
699		代表的な心不全治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	変更	代表的な心不全治療薬、薬理作用、機序、主な副作用
699		代表的な心不全治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
700		代表的な虚血性心疾患治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	変更	代表的な虚血性心疾患治療薬、薬理作用、機序、主な副作用
700		代表的な虚血性心疾患治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
701		代表的な高血圧治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	変更	代表的な高血圧治療薬、薬理作用、機序、主な副作用
701		代表的な高血圧治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
702		呼吸器系に作用する薬	変更	代表的な呼吸興奮薬、薬理作用、機序、主な副作用
702		代表的な呼吸興奮薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
703		代表的な鎮咳・去痰薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	変更	代表的な鎮咳・去痰薬、薬理作用、機序、主な副作用
703		代表的な鎮咳・去痰薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
704		代表的な気管支喘息治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	変更	代表的な気管支喘息治療薬、薬理作用、機序、主な副作用

行番号		追加・削除・変更を行う項目	意見の種別	意見及びその理由等
704		代表的な気管支喘息治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
704		代表的な気管支喘息治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	追加	COPD(慢性閉塞性肺疾患)を追加すべきと考えます。本疾患が増加していることと、815にもその旨が記載されていますので。
705		化学構造	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
706	(3)実の効き方II	ホルモンと薬	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
706		ホルモンの分泌異常に用いられる代表的な治療薬の薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
706		ホルモンの分泌異常に用いられる代表的な治療薬の薬理作用、機序、主な副作用	追加	GnRH誘導体の作用機序と臨床応用(汎用されているにもかかわらず、具体的項目がないため)
706		ホルモンの分泌異常に用いられる代表的な治療薬の薬理作用、機序、主な副作用	追加	オータコイドおよびその拮抗薬の薬理作用、機序、臨床応用(生理分子:474-483で学んだヒスタミン、セロトニン、アングイオテンジン、PG、ロイコトリエンの関連薬を整理した項目が必要なのでは?)
707		代表的な糖質コルチコイド代用薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
707		代表的な糖質コルチコイド代用薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
707		代表的な糖質コルチコイド代用薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用	変更	糖質コルチコイド代用薬ではなく、副腎皮質ステロイド薬にしていたきたい
708		代表的な女性ホルモン代用薬および拮抗薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
708		代表的な女性ホルモン代用薬および拮抗薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
708		代表的な女性ホルモン代用薬および拮抗薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用	変更	性ホルモン代用薬および拮抗薬ではなく、性ホルモン関連薬および性ホルモン拮抗薬にしていたきたい
709		消化器系に作用する薬	変更	代表的な胃・十二指腸潰瘍治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用
709		代表的な胃・十二指腸潰瘍治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	追加	大腸疾患に用いる薬物を追加する。
709		代表的な胃・十二指腸潰瘍治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
709		代表的な胃・十二指腸潰瘍治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	追加	胃下及び十二指腸薬を追加;該当項目がないため
709		代表的な胃・十二指腸潰瘍治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
710		その他の消化性疾患に対する代表的な治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	変更	その他の消化性疾患に対する代表的な治療薬、薬理作用、機序、主な副作用
710		その他の消化性疾患に対する代表的な治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
710		その他の消化性疾患に対する代表的な治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790~878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
711		代表的な嘔吐薬と制吐薬(列挙)、作用機序および主な副作用	変更	代表的な嘔吐薬と制吐薬、作用機序および主な副作用

行番号		追加・削除・変更を行う項目	意見の種別	意見及びその理由等
711		代表的な催吐薬と制吐薬(列挙)、作用機序および主な副作用	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
711		代表的な催吐薬と制吐薬(列挙)、作用機序および主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
712		代表的な肝臓疾患治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	変更	代表的な肝臓疾患治療薬、薬理作用、機序、主な副作用
712		代表的な肝臓疾患治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
712		代表的な肝臓疾患治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
712		代表的な肝臓疾患治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	追加	「止血薬、瀉下薬」「消化管運動調整薬」消化器系の中で、大きな部分を占めるので、新たに項目として設ける。
713		代表的な神経疾患治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	変更	代表的な神経疾患治療薬、薬理作用、機序、主な副作用
713		代表的な神経疾患治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
713		代表的な神経疾患治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
714	腎に作用する薬	利尿薬の作用機序別分類、臨床応用および主な副作用	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
714		利尿薬の作用機序別分類、臨床応用および主な副作用	変更	小項目を「泌尿器系に作用する薬」とし、利尿薬の他に、「排尿障害治療薬」と「頻尿治療薬」を加えた方がよい。
714		利尿薬の作用機序別分類、臨床応用および主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
714		利尿薬の作用機序別分類、臨床応用および主な副作用	変更	他と同様に、「代表的な利尿薬(列挙)、作用機序と主な副作用」とする。
714		腎に作用する薬 利尿薬の作用機序別分類、臨床応用および主な副作用	変更	「泌尿器系に作用する薬」に変更。
714		利尿薬の作用機序別分類、臨床応用および主な副作用	追加	714の次に追加。「泌尿器系に作用する薬」として排尿障害治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用
714		利尿薬の作用機序別分類、臨床応用および主な副作用	追加	714の次に追加。生殖器系に作用する薬 代表的な女性機能不全治療薬、子宮収縮薬、子宮弛緩薬、避妊薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用
715	血液・造血系に作用する薬	代表的な止血薬(列挙)、作用機序と主な副作用	変更	代表的な止血薬、作用機序と主な副作用
715		代表的な止血薬(列挙)、作用機序と主な副作用	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
715		代表的な止血薬(列挙)、作用機序と主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
716		代表的な抗血栓薬(列挙)、作用機序と主な副作用	変更	代表的な抗血栓薬、作用機序と主な副作用
716		代表的な抗血栓薬(列挙)、作用機序と主な副作用	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
716		代表的な抗血栓薬(列挙)、作用機序と主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。

行番号		追加・削除・変更を行う項目	意見の種別	意見及びその理由等
717		代表的な造血薬(列挙)、作用機序と主な副作用	変更	代表的な造血薬、作用機序と主な副作用
717		代表的な造血薬(列挙)、作用機序と主な副作用	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
717		代表的な造血薬(列挙)、作用機序と主な副作用	変更	造血薬の定義がわかりにくいので、貧血治療薬に変更したほうが、よりわかりやすい
717		代表的な造血薬(列挙)、作用機序と主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
718	代謝系に作用する薬	代表的な糖尿病治療薬(列挙)、作用機序と主な副作用	変更	代表的な糖尿病治療薬、作用機序と主な副作用
718		代表的な糖尿病治療薬(列挙)、作用機序と主な副作用	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
718		代表的な糖尿病治療薬(列挙)、作用機序と主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
719		代表的な高脂血症治療薬(列挙)、作用機序と主な副作用	変更	代表的な高脂血症治療薬、作用機序と主な副作用
719		代表的な高脂血症治療薬(列挙)、作用機序と主な副作用	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
719		代表的な高脂血症治療薬(列挙)、作用機序と主な副作用	変更	「高脂血症」という言葉を使うのか、「脂質異常症」とするのかというように、概念の変化に対応が必要ではないか?
719		代表的な高脂血症治療薬(列挙)、作用機序と主な副作用	変更	高脂血症から脂質異常症への疾患名の変更に合わせて、「脂質異常症(高脂血症)治療薬」と表現する方がよい。
719		代表的な高脂血症治療薬(列挙)、作用機序と主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
719		代表的な高脂血症治療薬(列挙)、作用機序と主な副作用	変更	高脂血症治療薬を脂質異常症治療薬にかえていただきたい
720		代表的な高尿酸血症・痛風治療薬(列挙)、作用機序と主な副作用	変更	代表的な高尿酸血症・痛風治療薬、作用機序と主な副作用
720		代表的な高尿酸血症・痛風治療薬(列挙)、作用機序と主な副作用	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
720		代表的な高尿酸血症・痛風治療薬(列挙)、作用機序と主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
721		カルシウム代謝調節・骨代謝に関連する代表的な治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	変更	カルシウム代謝調節・骨代謝に関連する代表的な治療薬、薬理作用、機序、主な副作用
721		カルシウム代謝調節・骨代謝に関連する代表的な治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
721		カルシウム代謝調節・骨代謝に関連する代表的な治療薬(列挙)、薬理作用、機序、主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
722	炎症・アレルギーと薬	代表的な炎症治療薬(列挙)、作用機序および主な副作用	変更	代表的な炎症治療薬、作用機序および主な副作用
722		代表的な炎症治療薬(列挙)、作用機序および主な副作用	変更	「薬理作用、機序、主な副作用」との記載と、「作用機序と主な副作用」との記載があり、いずれかに統一するのが好ましい。
722		代表的な炎症治療薬(列挙)、作用機序および主な副作用	削除	各臓器・組織に用いる薬の作用機序や副作用に関する項目は各疾病と関連づけて教えるのが望ましい。上記に挙げた項目(790～878)とほとんどが重複するため、どちらか一方は必要ない。
722		炎症・アレルギーと薬	追加	消炎鎮痛剤、免疫抑制剤について記載がないため